

国際交流つうしん



夏休み子ども日本語教室 (P.5)



学校からのおたより (P.4)

目次

- P.2 千葉県開催のオリンピック競技・フェンシング
- P.3 外国人テレホン相談の現場から～渉外戸籍～
- P.4～5 事業報告（平成30年11月～平成31年2月）
- P.6 今後の行事予定
あなたの街の国際交流・協力団体 ～PRIYO handicrafts～
- P.7 JICA千葉デスクのページ
- P.8 千葉県から世界へ！ ～スーダン共和国～

広告

水野外語学院

日本語で日本語を勉強します。
いろいろな国の人と
一緒に勉強します。

赤ちゃんが言葉を覚えるように、
楽しく、自然に日本語が話せるようになります。

MIZUNO GAIGO GAKUIN

〒272-0133 千葉県市川行徳駅前4-19-14
TEL: 047-397-9645 FAX: 047-397-3078



広告

地域日本語教室の学習者と支援者をつなぐ
『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室』シリーズ最新刊!!



いっぽにほんごさんぽ 暮らしのにほんご教室 初級3

地域の日本語学習者、支援者のみなさんが、
1歩、2歩、3歩…
学びと支援に踏み出せるよう作成された
初級総合教科書です。

にほんごの会企業組合・宿谷和子・天坊千明・森桂子 著
本体2,400円+税 B5判

スリーエーネットワーク 最新刊や教材の使い方セミナーの情報は
http://www.3anet.co.jp/

千葉県開催のオリンピック競技 フェンシング

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおいて、フェンシングが幕張メッセで開催されることが決定したことから、千葉県では、フェンシングの代表選手とともに競技を体験し、親しむためのイベントが数多く実施されてきました。

ロンドンオリンピック・男子フルーレの団体で見事銀メダルを獲得した千田健太さんは、フェンシングを支える立場としてこれまで様々な普及・振興活動に携わってこられました。大会及び都市ボランティアを目指す方々を対象とした「通訳ボランティア養成講座」で千田さんと直接交流したことをきっかけに、フェンシング国際大会の競技ボランティアとして活躍の場を広げている方もいらっしゃいます。東京2020大会を来年に控えた今、ボランティアとして活動し、今後も競技を支えていくためにどんなことができるか考えてみませんか？



皆さん、こんにちは。フェンシング競技元日本代表の千田健太です。フェンシングは、スピーディかつ繊細な剣技、ダイナミックな斬り、頭脳駆け引きなど、さまざまな要素が求められる競技です。

競技の種類は、「エペ」、「フルーレ」、「サーブル」の3種目があり、それぞれに面白みや見どころがあります。大きな違いは、各種目の有効面です。「エペ」は全身が有効面。同時突きもあり、ランプが点灯すればポイントになります。「フルーレ」の攻撃は胴体への突きだけ。攻撃権があるので、ランプの点灯だけではなく駆け引きにも注目です。「サーブル」は上半身のみで、剣身全てを使い、突きか斬りで相手の有効面を狙います。

競技の基本ルールがわかると、試合観戦も一層楽しくなりますので、ぜひマスターしてみてください！

見どころ満載のフェンシング

フェンシングは、剣を持って互いにピストに立った瞬間から、選手同士の駆け引きが始まります。その間合いから一瞬で相手の有効面を仕留める攻撃のすばやさ、それを予測していたかのごとく、間一髪で攻撃をかわし、相手の有効面へ突き返しを狙うカウンター攻撃など、両者の剣と剣の攻防、スピーディな身のこなし合いは一瞬たりとも目が離せません。相手に勝利するための大きなポイントは、試合の「展開を読む力」です。選手は互いに「次に相手は何をしてくるか。」「自分は次に何をしなければならぬか。」と常に考えながら、次の展開を予想していきます。そして、その流れに合った技を取捨選択し、試合を有利に進めていくためには、相手を観察し、次の攻めを予測できる洞察力が大変重要な要素になってきます。

また、選手自らが考え、ベストな組み合わせで作り上げた世界唯一のスタイルで試合を戦うことは、競技者にとって大きな魅力です。フェンシングは、男女でも子供でも試合をすることができるほど、安全なスポーツです。ぜひ競技を体験し、フェンシングの駆け引きの面白さに触れてみてください。



国際大会を支えるボランティア

私はこれまで、オリンピックをはじめ、世界選手権、ユニバーシアードなど数々の国際的な大舞台でボランティアの方と触れ合ってきました。

東京2020大会は、まさに「世界規模での国際交流の場」。競技をサポートするボランティアとして参加することは、世界中から集結したたくさんの人たちと活動を共にし、交流を深めるチャンスでもあります。コミュニケーションを通じてさまざまな価値観や考えを共有し、まったく新しい未知の世界を体験できることは、ご自身の貴重な財産となり得る、ボランティア活動の醍醐味ではないでしょうか。

この経験を生かし、今後ますます重要性が高まるスポーツボランティアとして、継続的に競技を支えていただきたいと思います。

私も東京2020大会を人生の貴重な思い出にできるよう、積極的に関わっていきたいと思います。

第72回フェンシング選手権大会開催！

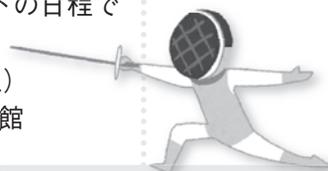
第72回フェンシング選手権大会が、以下の日程で開催されます！

日時：2019年9月19日(木)～21日(土)

会場：駒沢オリンピック記念公園体育館

千田さんの公式サイトで

フェンシングのルールや基礎知識などを
ご紹介しています！



<http://kenta-chida.com/>

☎ 在住外国人の相談窓口から～涉外戸籍1～



外国人テレホン相談に寄せられる内容で、在留資格に次いで多いのが涉外戸籍です。涉外戸籍とは聞きなれない言葉ですが、市町村役場で行う身分関係の手続きのうち、(日本人でない)外国に関わりのあるものを総称して言います。具体的には結婚、離婚、養子縁組、帰化などです。外国に関わることで何が違ってくるのでしょうか？

国際結婚

国際結婚においては、二人の国籍と文化が異なるというだけでなく、各々の背景にある法律が異なる点で、日本人同士の結婚とは大きく異なります。



日本人には「戸籍」制度があるので、身分関係を確認するのは容易ですが、外国人には「戸籍」がないため、結婚するための要件が備わっているのかどうか調べる術がありません。そこで、出身国の在日公館で別途「婚姻要件具備証明書」を発行してもらい市役所に提出するのが原則になっています。たとえば、中国の法定結婚年齢は男性22才、女性20才なので、これを満たさなければ日本の役所も婚姻届けを受理してくれません。

これら法的条件を満たして日本で婚姻届けが受理されても、国際結婚は、別途本国に婚姻の届出をしなければ婚姻は完結しません。本国で婚姻が成立して初めて配偶者を日本に呼び寄せることができます。入管は配偶者ビザを発給する際、この点を厳しく審査します。重婚や偽装結婚を防ぐためです。

昨今、増加傾向にあるのは、国籍の異なる外国人同士が日本で結婚あるいは再婚して家庭を築くケースです。まさに多国籍化のあらわれといえます。

国際離婚

不幸にして婚姻生活が破城し、離婚という事態になった時、在住外国人も離婚手続きは日本の制度に沿って行います。すなわち協議離婚、調停離婚、あるいは裁判離婚

OH NO...



です。

その中で協議離婚は世界でも稀有な制度で、多くの国では公的機関の介在を経ないと正式な離婚は成立しないのが一般的なため、やっかいな問題を引き起こしています。

協議離婚の問題点は、離婚届を役所に出して受理されると離婚が成立してしまうこと。当事者の一方のみが提出すれば受理されること。たとえ無断あるいは日本語力が弱くて離婚届と知らず署名させられても後戻りが効かないことです。さらに未成年の子供がいる場合、第三者の介在がないまま当事者により親権が決められてしまうことです。協議離婚を認めない国の方には、本国での手続きを考慮して家庭裁判所の離婚調停を勧めます。また、子どもの親権に公的機関の介在を求める国の方にも家庭裁判所を勧めます。

「離婚届不受理申出」は、協議離婚の盲点を補うために創設された制度です。自身の名前の離婚届は受け付けられないよう、役所に届け出ておくのです。以前は期限付きだったのが、現在は取り下げない限り無期限有効です。

離婚により日本との縁が絶たれた外国人配偶者は、就労の在留資格を取得するなど日本に残る方策がない限り、出国するしか道はありません。特に子どもがいて親権を取れない場合は悲惨です。

また国際離婚で稀にあるのが、日本で成立した離婚を本国に報告しないで放置している事例です。いざ新しい伴侶との出会いがあり、子どもを授かって再婚しようとしても、前婚の記録がそのまま残っているので、身動きがとれません。国際離婚ならではの不条理といえます。

(…残りは次号に続きます)

平成31年度 外国人のための無料法律相談 スケジュール 13:00～16:00

日程	4/8(月)	5/13(月)	6/3(月)	7/1(月)	7/20(土)	8/5(月)	9/2(月)	
弁護士	○	○	○	○	○	○	○	
行政書士		○			○		○	
日程	10/7(月)	10/26(土)	11/11(月)	12/2(月)	1/11(土)	2/3(月)	3/2(月)	3/23(月)
弁護士	○	○	○	○	○	○	○	○
行政書士			○		○		○	

回数が増えました!



※原則1人45分、要予約、通訳手配可。 千葉県国際交流センター TEL : 043-297-0245

◆コミュニティ通訳研修（全4回） 10月26日・11月2日・9日・16日

地域に住む外国の方が困っている時、手を差し伸べ「言葉」の手伝いをするために、まず私たち自身が法律や制度を理解しておくことが大切です。日常生活で特に外国人が直面する問題について、専門家を招き5回のシリーズで学びました。

基礎編 10月26日（金）在留管理制度の基礎知識（公財）入管協会 佐藤 修 氏
 11月2日（金）涉外戸籍の基礎知識（結婚・離婚・出生・養子縁組）千葉県弁護士会 廣瀬 理夫 氏
 応用編 11月9日（金）日本の社会保険・労働保険制度について 社会保険労務士 野口 喜輝 氏
 11月16日（金）母子福祉と母子保健について 千葉県健康福祉部児童家庭課 母子生活支援施設「FAHこずもす」の事例紹介 ソーシャルワーカー 松原 恵之 氏



◆JETROアジア経済研究所開発スクール（IDEAS）
 外国人研修生ホームステイ 11月17～18日・22～23日

ホストファミリーの平田帆花さんが
 感想をお寄せくださいました

浦安郷土博物館の展示室では、ノイは浦安の埋め立ての歴史に興味を持っていました。ノイの出身国・ラオスには海がありません。浦安の漁師町をそのまま残した「昭和のまち」は日本人の私でもワクワクしました。ガイドの方はラオスから来たという歓迎してくれて、ゆかたを着せて下さいました。ホームステイ先だった私の家はマンションなので、ノイと一緒に昭和の家を見たり、遊びを体験できてよかったです。IDEASの修了式では、各国の大使やIDEASの他のメンバーと並び、ホームステイ中とは違った、国際人として活躍するたくましい表情をしたノイの姿に刺激を受けました。私も国際社会の中で人に役立つ仕事に就きたいと思いました。



◆災害時外国人サポーター養成講座 12月8日・15日

災害時に外国人の支援を行うボランティア養成講座を、千葉県、我孫子市、我孫子市国際交流協会と共催で、2日間にわたり実施しました。1日目は、外国人支援の講義や「災害時多言語支援センター」設置に向けたグループワーク、2日目はやさしい日本語の講義や同センターの立ち上げ訓練や非常食試食、在住外国人を交えた避難所巡回訓練などを行いました。外国人がどのようなことで困るのか、自分たちにどのような支援ができるのかを学び、災害が発生した際に頼りになるボランティアのスキルを習得しました。



◆日本語ボランティア・スキルアップ講座 11月14日・28日

地域で日本語学習支援活動を行っているボランティアの方々を対象とし、11月14日は、成人対象の活動のコース、11月28日は、児童・生徒対象の活動のコースとし、1日2コマのプログラムで、日本語教育の専門知識・現場経験が豊富な4名の先生方にご指導頂きました。成人のコースの受講者からは、「発音の教え方について身をもって学ぶことができた」、「日常使っている日本語がいかにやさしくないものか、実感した」、また、児童のコースの受講者からは、「受験につながる日本語学習について学ぶことができた」、「手品のように教材を示して頂いて、明日から使おうと思った」などの感想がありました。



平成30年度・通訳ボランティア養成講座・全日程が終了しました！

【千葉A】 7/21・8/4・9/15 【浦安B】 8/30・9/6・13 【千葉C】 9/22・29・10/6
 【印西D】 10/17・24・31 【茂原E】 11/13・20・27 【千葉F】 12/1・8・15

平成30年度の通訳ボランティア養成講座では、英語・中国語・韓国語ができる方を対象に、県内6会場で実施しました。今年度は、千葉県で開催されるパラリンピック競技・ゴールボールについての講義も加わり、合計196名の方々にご受講頂きました。

「学校からのおたより」がリニューアル！



日本の学校制度の紹介や、「学校ガイド」と、学校から送られてくる連絡文や保健関係の書類を英語、中国語、スペイン語、韓国語・朝鮮語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語の7言語に翻訳したものです。

千葉県国際交流センター 学校からのおたより 検索



千葉県国際交流センターHPに
 やさしい日本語が加わりました！

千葉県在住の外国の方々ももっと便利に情報を入手できるよう、日本語教室の検索ページとすべての項目にふりがなをふりました。ぜひ、ご活用ください！

日本語ボランティアの方と、夏休み子ども日本語教室に参加してきました！

8月4日(土)に八千代市立郷土博物館にて開催された、サバイバル日本語教室では、八千代市内の小中学校に通うペルーやブラジル、ベトナム、フィリピン、中国などにつながる子どもたち約20名、大学生を含む日本語ボランティアの方も約10名が参加し、日本語を勉強しながら、ジャンボすごろくや、アイスクリーム作りなどのアクティビティを楽しみました。八千代市多文化交流センターと郷土博物館の間を移動する時には警察署の方が誘導し、交通安全についてもお話してくださいました。

参加した子どもたちは「夏休みの間、日本語を使う機会がないので、楽しみながら学習ができてよかった。友達もできて、夏休みが明けて会えるのが楽しみ」「初めてのすごろくがとっても楽しかった。日本語ボランティアの人たちが丁寧に教えてくれて嬉しかった」と喜んでいました。日本語ボランティアからは「親の事情で連れて来られた子どもがほとんどで、戸惑いながら日常を過ごしているのだと感じた。今回出会った外国につながる子どもたちに将来、日本と外国との懸け橋になってもらえたら良いと思う」、「子どもは、国内・海外関係なく、国の宝。みんなで育てていく必要があると感じた」という声もありました。



ちば出前講座・外国人講師活動報告 @千葉大学教育学部附属特別支援学校

千葉大学教育学部附属特別支援学校に通う中学生11名が、オーストラリア出身のマシュー・ハワード・リアックさんと一緒に、英語を使ったレクリエーションを行いました。事前に練習した英語を外国の方との交流を通じて発揮し、挨拶などの簡単な英語を身につけられることを目的としたプログラムをご紹介します。



プログラムを通じて、子供たちが英語を話すことを楽しみ、自分から周囲とコミュニケーションをとるきっかけとなりました。活動を通じて、意外な一面を見せた子供たちの姿が、先生方にとっても新たな発見となり、今後の指導の参考にしたかったとの声もありました。

・英語で挨拶しよう！(5分程度)

サンタクロース姿で登場するマシューさんを拍手でお出迎えし「Hello」と皆で挨拶。

・英語でお互いに自己紹介しよう！(10分)

始めに先生からマシューさんへ名前や出身地を英語で尋ね、その後My name is～、I am～ など、簡単な英語を使って子供たちが1人ずつ名前を言います。

・英語で歌おう！クリスマスの歌！(5分)

みんなで「Head, Shoulders, Knees and Toes」を歌いながら体を動かしました。

・マシューさんに質問しよう！What's your favorite…?(20分)

子供たちが Sports, Foods, Fruits, Songsなどのカードを引いて、マシューさんに質問する。

・英語で椅子取りゲーム(15分)

「Rudolph the Red Nose Reindeer」に合わせて椅子取りゲームをしました。

・マシューさんと一緒にお菓子を作ろう！(20分)

市販のカップケーキにみんなでデコレーションをして、マシューさんとおしゃべりしながらお菓子を食べました。

講座実施につきましては、千葉県国際交流センターまでお問合せください。

語学ボランティア・活動報告

◆ラクロス 国際試合「World Crosse」(11月8日～9日)

アメリカの世界最高峰のプレーヤーと日本の選抜選手によりラクロス親善試合が浦安市陸上競技場にて開催されました。試合前日は、アメリカの選手が地域の中学校を訪問し、ラクロスのデモンストレーションを行い、生徒とともに給食を体験する等、温かい交流が繰り広げられました。訪問に同行した4名のボランティアの皆さんには、アメリカ人選手の挨拶や競技説明の通訳、生徒との会話の橋渡しをしていただきました。11/9試合当日は、8名のボランティアの方にアメリカの男女各チームの通訳をしていただきました。参加されたボランティアは、選手の方との触れ合いや白熱した接戦の応援を通して、ラクロスの魅力に引き込まれたようです。



◆Goalball Japan Men's Open チーム付ボランティア(1月11日～14日)

2019ゴールボールジャパンメンズオープンが佐倉市民体育館にて開催され、日本、カナダ、オーストラリア、タイの4か国のチームによる白熱した試合が繰り広げられました。

大会には千葉県国際交流センターの語学ボランティアの皆さんがチーム付き通訳、場内アナウンス、歓迎レセプションの通訳等として参加され、選手の皆さんのひたむきなプレーに感動し、熱い声援を送られました。初めて参加されたボランティアの方々にとっても重責を乗り越え、次の活動への士気を高められる貴重な機会となりました。



千葉県国際交流センター 平成31年度事業計画

事業	内容	時期(予定)
国際交流ボランティア制度	語学、ホストファミリー、文化、事業、日本語の各ボランティアの登録・紹介	随時
ホームページによる情報提供	在住外国人の生活情報やセンター事業等について発信(日・英・中・西・やさしい日本語)	随時
FACEBOOKによる情報発信	ボランティア活動情報、イベント情報などを発信	随時
外国人テレホン相談事業	在住外国人の電話による生活相談への対応(日・英・中・西)	随時
ちば出前講座	在住外国人・JICAボランティアOB/OG等を団体や学校等に講師として紹介	随時
「国際交流伝言板」の発信	国際交流イベントや募集事業をホームページ等で紹介(日・英・中・西)	毎月
外国人のための無料法律相談	外国人の生活上の法的問題に弁護士、行政書士が対応、通訳手配も可(原則第1月曜 行政書士は5、9、11月)	毎月
コミュニティ通訳研修	在住外国人の生活支援に役立つ基礎知識を学び、語学の向上を図る講座	10~12月
国際交流・協力等ネットワーク会議	民間交流団体や市町村国際交流協会担当者による情報交換	10~12月
日本語ボランティア・スキルアップ講座	日本語ボランティアが日本語指導の向上を図る講座	6~7月
外国人相談担当者意見交換会	県内の外国人相談担当者向けの講演、情報交換	7月
国際フェスタ CHIBA	国際交流・協力団体の活動成果を展示等により、広く県民に広報	5月
会報「国際交流つうしん」の発行	当センターの事業及び県内民間団体の活動等を紹介する会報の発行	7、11、3月
国際理解セミナー	県民に広く、国際理解を図る講座を開催	10~3月
日本語ボランティア基礎講座	日本語ボランティアについての基礎的な知識を学ぶ講座	7月以降
日本語ボランティアの集い	外国人児童に対する日本語ボランティア向けの講座及び参加者間の情報交換	2月
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座を開催	1~2月

あなたの街の国際交流・協力団体

バングラデシュのフェアトレード
PRIYO handicrafts 代表 平松加代

バングラデシュで厳しい生活環境におかれている人々が作るハンディクラフトを日本の皆さんへ届けています。なぜ、バングラデシュ？私は現地に4年近く住んでいました。首都ダッカでは新しいビルが続々と建設され、おしゃれな店も年々増えています。一方、変わりゆく街の中で路上生活を強いられ、物乞いをしている人たちの様子は一向に変わりません。貧富の差が激しくなっているのです。知れば知るほど、複雑な社会構造であり、そう簡単に解決できる問題ではありません。

けれど、自分にも何かできないか。以前フェアトレード団体で働いていた経験を活かそう。この問題を解決しようと頑張っている人たちと共に奮闘していこう。そんな思いで、2015年から取り組み始めました。活動を通じて、現地のパートナーとの交流が深まり、更に現実が見えてきました。出会ってからしばらくは明るい笑顔で冗談を言い合うばかりでしたが、親しくなればなるほど、辛い時は包み隠さず、悩みを打ち明けるようになりました。彼らは、どれだけこの仕事に救われていることだろう。私は彼らの生活を潤す仕事作りでどれだけ貢献していけるだろう。不安もある中、共感してくれる日本人の仲間にも恵まれ、その思いが現実となり、2018年にPRIYO(ぷりよ：ベンガル語でお気に入り、親愛なるという意味)という団体名で日本での販売を開始しました。

国際協力だからではなく、商品に魅力があるからという理由で購入してもらいたい。売れば何でも良いわけではなく、現地の特徴を活かしつつ、日本の皆さんに気に入っていただける商品を作り出す！というこだわりを持っています。まだまだ小さな団体ですが、8割ほどオリジナル商品を取りそろえています。去年はフェアトレードフェスタちば(今年も5月12日(日)にきぼーるにて開催)やエコメッセちば(今年も10月20日(日)に幕張メッセにて開催)にも出展しました。小学生からご年配の方々まで「可愛い。何これ！」というお褒めのお言葉をいただき、少しずつですが、前進していると確信しています。

そして今春、自社サイトでのインターネットショップをオープン。プチギフトにおすすめの商品としても紹介していきます。より多くの方々にPRIYOの商品をお手に取っていただけるよう奮闘していきます。ぜひサイトをご覧ください。

<https://priyo-handicrafts.com/>

連絡先 Email: priyo.handicrafts@gmail.com



PRIYO handicrafts

検索



フェアトレードフェスタちば2019を開催します!

第11回目を迎える「フェアトレードフェスタちば」が、今年もきぼーるアトリウムで開催されます。「フェアトレード」は、その地域に住む人々に仕事を生み出し、技術研修や正当な報酬を支払うシステムを地域に浸透させることで、彼らの自立と地域社会全体を向上させることを目的としています。私たちが身近な生活にフェアトレードを取り入れることが、国際協力につながります。本イベントには、主に千葉県内でフェアトレード商品を扱う団体や、大学生団体などが出展します。また、スタンプを集めて景品がもらえるスランプリアーなど、楽しい企画も予定しています。是非、ご家族ご友人をお誘いの上会場にお越し下さい。

【フェアトレードフェスタちば2019 ～選ぶことで世界をカエル～】

- 日時：5月12日（日）10：00～16：00（予定）
- 場所：きぼーるアトリウム
（JR千葉駅から徒歩15分
／京成千葉中央駅から徒歩5分）
- 内容：フェアトレード商品展示販売、資料配付、スタンプラリー、立体展示 等



出展／協賛を募集しています

フェアトレードを広義に捉え、フェアトレード商品を扱う団体、環境や人に配慮した物づくりをしている国際協力・交流団体、福祉作業所、企業等の皆さまに出展/協賛のお声かけをしています。

詳しい情報は、下記ホームページをご覧ください。

フェアトレードフェスタちば2019：<https://www.ftchiba.net/festa/2019/>

出展協賛団体募集：<https://www.ftchiba.net/syutten/>



2019年度JICA海外協力隊春募集! 2/13(水)～4/3(水)正午

2019年度
春募集

★★★ JICA海外協力隊体験談&説明会 in 千葉 ★★★

JICA海外協力隊経験者の体験談や応募相談ができます。

参加無料・要予約



JICA（独立行政法人国際協力機構）が派遣する青年海外協力隊／シニア海外協力隊は、開発途上国で現地の人々と共に生活し、同じ目線で途上国の課題解決に貢献する活動を行っています。帰国後は、日本をはじめ様々な国や分野で、経験を生かした貢献が期待されています。

日程/開催地	時間	会場
3月30日（土） 千葉市	11：00～13：30	CHIBA CONFERENCE CENTER （セミナールームA） JR千葉駅北口徒歩2分
	14：30～17：00	

千葉県国際交流センター内 JICA千葉デスク 国際協力推進員 永井 大策
TEL：043-297-0245 FAX：043-297-2753 E-mail：jicadpd-desk-chibaken@jica.go.jp



千葉県から世界へ!

スーダン共和国



※外務省ホームページより引用

鎌ヶ谷市出身の、井上洋輔さんは、2017年よりJICA青年海外協力隊ボランティアとして、スーダンで活動されています。現地での障害児・者支援活動について、ご紹介頂きました。

スーダンについて



スーダン共和国はアフリカ大陸の北東にあり、エジプト、エチオピア、南スーダンなど7カ国と隣接しています。砂漠気候で一年中暑く、40度を超える日が殆どです。雨も一年で数回しか降りませんし、砂嵐が起こることがあります。



アラビア語が公用語であり、殆どの人がイスラム教徒です。国自体でお酒や豚肉が禁じられ、販売は一切されていません。モスクがたくさんあり、毎週金曜日はみんなでモスクに集まり、礼拝するので殆どのお店や市場がお休みになります。

国民性について

スーダン人はとても人懐っこく優しい人が多いです。誰にでも挨拶するし、一度会っただけで「ハビブナー（俺たちの親友）！」と呼んでくれます。道を歩いていると、「どうぞ!ご飯を一緒に食べよう!」と全く知らない人が声をかけてきて、そこで話しながら一緒にご飯を食べ、知らなかった人が食後にはいつの間にか「ハビブナー」になっていることが日常茶飯事です。

ボランティア活動について

私の配属先は、知的障害を持った子どもたちが通う公立の特別支援学校です。そこで教師のサポートや体育の授業をしています。スーダンには体育の授業がありません。毎日暑くて外で行うことは困難であり、クーラーなどの設備も整っていないので、日本のような体育を行うことは難しいです。なので、室内や日影でできる簡単な運動を紹介しています。教師たちは子供の頃に体育を行ってきていないためか、体育に対して協力的ではない現状です。子どものストレス発散や情緒の安定、運動不足解消のために体育は必要と私は考えています。何より運動している子どもの笑顔がとても輝いています。教師に対して色々な方法でアプローチしていき、体育の必要性を教師が理解し、体育の授業を教師自ら実施してもらうことが残りの期間の私の目標です。



広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は**入国管理局への出頭が免除**されるので、**仕事や学業に専念**することが可能です。

お問い合わせは…



千葉県行政書士会

www.chiba-gyosei.or.jp/

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号
TEL: 043-227-8009 FAX: 043-225-8634



広告

ホストファミリー募集

留学生をご家庭に受け入れて国際交流をしてみませんか?

世界各国から日本へ留学する高校生を家族の一員として受け入れてくださるご家庭を募集しています。日本の素晴らしい文化や習慣を伝えると同時に、留学生の母国語、文化、習慣について学んでみませんか?

期間・時期・概要

- 受け入れ期間：1ヶ月から可能です
- 開始時期：随時
- 担当コーディネーターが責任を持ってサポートいたします
- 個人費用は留学生が負担いたします



Ayusa by Intrax

詳細・お問合せ >>> フリーダイヤル: 0120-955-414

Email: intrax@intraxjp.com HP: hostfamily.ayusajapan.org
東京都港区海岸1-9-11マリックスタワー7階 アユサイインターナショナル事務局



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14F
TEL: 043-297-0245 FAX: 043-297-2753 E-mail: ied@ccb.or.jp

<https://www.mccic.or.jp/>へgo!

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)